

学校教育目標	「わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども」 ○すすんで学習に取り組み、自分の思いをもち、豊かに表現できる力を育てます。(知) ○人を思いやる心をもち、共感できる力を育てます。(徳) ○望ましい食習慣や生活習慣を心がけ、心身ともに健康に生きる態度を育てます。(体) ○私たちのまち「新羽」との関わりを大切に、身近な社会のために自ら実践しようとする態度を育てます。(公) ○人との豊かな関わりを通して、互いに協力し合い、ともに生きていく力を育てます。(開)				
	創立 50 周年	学校長 佐藤 恵子	副校長 高城 剛	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 3
学校概要	児童生徒数: 347 人 主な関係校: 新羽中学校・新田小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	新羽中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<主体性> <コミュニケーション能力>	新羽中学校 新羽小学校	<p>自立的に学び、互いに高め合う子ども 人との関わりを大切に、主体的によりよい集団を創造する子ども</p> <p>①小中同じテーマで授業改善に取り組み、教員同士が学び合うための授業参観や研修会を設ける。職員交流や児童生徒交流を通して児童理解を深め、指導観を共有する。 ②自立的な学びに向かう学習活動の工夫改善を図る。 ③多様な人との交流を通じた人権意識の向上を図る学習場面を工夫する。</p>

中期 取組 目標	<p>○安心安全な学習環境のもと、子ども一人ひとりの主体性を育て、対話的な学びの充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが安心して過ごせる共感的な集団をつくり、自他を認める態度を育てます。 ・育てたい資質能力を明確にして学習の動機づけを工夫し、主体的に学ぶ意欲を高める授業改善に取り組みます。 ・グループでの学び合い、発表活動など、思いを伝え合う活動を取り入れた授業改善に取り組みます。 <p>○学校・家庭・地域が協働で子どもの成長を支える風土づくりに寄与するとともに、地域の教育力を学校教育に生かします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を題材にした教育活動を通して、多様な人や物と触れ合う機会を充実させます。 ・自分を取り巻く集団や社会への関心を高め、人と関わりながら課題解決しようとする学習活動の充実を図ります。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	<p>①教員が主体的に学び互いに高め合う授業研究を進め、授業を見合うなど積極的に授業改善に取り組む。</p> <p>②学習への興味関心を高め、個々の思いを広げたり深めたりできるような対話的な活動の充実を図る。</p> <p>③授業のねらいを明確にした20分学習(新羽タイム)の指導の工夫を図る。</p>
担当 重点推進	
徳 道徳教育 人権教育	<p>①教育活動全体を通して、謙虚な姿勢で話を聞いたり他者の立場で考えたりする活動の充実を図る。</p> <p>②人権週間や重点研究会での取組を活用して、主体的・対話的な道徳科の授業改善に取り組む。</p> <p>③児童会活動を中心に、誰もが安心して過ごせる学校づくりに向けた児童主体の取組を活性化させる。</p>
担当 道徳部・人権担当	
体 健康教育	<p>①さまざまな活動を通して健康への意識を向上させ、望ましい食習慣と生活習慣の習得につなげる。</p> <p>②学年や児童会組織を母体とした子ども自身が考える健康維持への取組を推奨し、実践できるようにする。</p> <p>③日々の健康観察やデータをもとに自己の心身の状態への関心を高め、改善につながる指導を行う。</p>
担当 体育部・保健食育環境部	
公 開 自分づくり	<p>①自己の目標や使命感をもち、創造的に活動する学習の機会を設ける。</p> <p>②人との豊かな関わりを通して、自己を見つめたり、身近な人や社会への関心を高めたりできるようにする。</p> <p>③他者と協働で創りあげる活動を通して、自己肯定感を高める指導を工夫する。</p>
担当 生活総合・特活部	
いじめへの対応	<p>①教職員全員でいじめ防止対策委員会を開催し、積極的認知と組織的な防止対策に努める。</p> <p>②教職員の危機管理意識を高め、いじめの早期発見と迅速な組織対応に取り組む。</p> <p>③学年や児童会組織を母体とした子ども自身が考える未然防止への取組を強化する。</p>
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	<p>①重点研究主題をすべての学習指導で実践し、対話による研修を積み重ねながら指導力の向上を図る。</p> <p>②OJTの活性化を組織マネジメントの中核に位置づけ、学び育ち合う教職員集団の構築を図る。</p> <p>③風通しがよく心理的安全性の高い職場環境を維持するとともに、ICT活用による業務改善を進める。</p>
担当 教務部	
児童指導	<p>①「チーム担任制」を進め、多くの目で見守る安心安全な学習環境づくりに努める。</p> <p>②迅速な報告・連絡・相談とチーム対応を基本に、トラブル等の早期解決と再発防止に努める。</p> <p>③あいさつや話の聞き方など社会的スキルに対する子どもの意識を高める指導を工夫する。</p>
担当 児童指導・理解推進部	
特別支援教育	<p>①「わかる授業」「誰もが参加できる活動」の手立てとして、学びや環境のユニバーサルデザイン化を図る。</p> <p>②個別の教育計画を教職員全体で共有し、組織で適切な支援に当たる。</p> <p>③個のニーズに応じた効果的な支援を講じるため、保護者や関係機関と密に連携を図る。</p>
担当 特別支援教育委員会	
安全管理 環境整備	<p>①誰もが安心して過ごせる学校づくりのために、整理整頓された学習環境を維持する。</p> <p>②さまざまな学校事故対応訓練や避難訓練を実施し、教職員の危機管理意識と対応力を向上させる。</p> <p>③不具合への迅速な対応、不審物を含めた定期的な安全点検を実施し、安全な学習環境を維持する。</p>
担当 保健・安全防災担当	
保護者 地域連携	<p>①学校から積極的に情報発信したり学習活動を公開したりして、学校教育への理解促進を図る。</p> <p>②創立50周年記念事業への取組を通して、学校と地域との信頼関係を再構築する。</p> <p>③学校運営協議会において、学校の重点取組を地域と共有し、家庭や地域の役割について話し合う。</p>
担当 学校家庭地域連携	